

全日本中学校長会 研究協議会等の研究の在り方について

教育研究部

全日本中学校長会研究協議会等の研究については、学校管理職である校長の研究であることを念頭に置き、教科教育研究等の全国大会で発表される研究とは異なり、経営者の視点に立った研究としたいと考えております。

以下の視点等の例を参考に、研究の実践、研究発表と協議、報告書作成を進めていただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1 主題に迫る上での学校経営上の課題は何かを明確にする。

- 校長としての課題認識
- 校長としての問題把握

2 課題を解決するための学校の経営者の視点をもつ。

- 教育目標の具現化を図るために、どのような目標を立て、現状をどう捉えて、変えようと考えたのか。
- 様々な教育課題への対応にどのように取り組んだのか。その際、教職員の人材育成や地域人材等の活用はどのように推進してきたのか。また、費用・時間対効果はどうであったか。

3 取組の結果と成果及び課題を明確に把握する。

主題を踏まえ、下記の視点等から事実を通して成果及び課題を述べる。

- 生徒の変容
- 教職員の変容
- 保護者の変容
- 学校と地域との関係の変化
- その他

4 研究・実践のまとめ

- 校長としての課題の捉え方、認識はどうであったか。
- 校長としての学校経営の視点はどうかであったか。
- 成果のみをまとめるのではなく、課題や反省点、検証結果やその後の取組の在り方等について客観的に考察する。

I 実践を進めるにあたって

実践研究においては、次の過程を踏んだ実践が大切である。

- (1) 現状や事実についての正確な把握
- (2) 問題が生じる原因の探究、事態を望ましい方向に向けるための阻害要因及び促進要因の説明
- (3) 仮説と解決策の提示
- (4) 実践
- (5) 評価

また、研究としてまとめるには、校長の教育ビジョンや働きかけが、どう作用し、組織体としての教職員にどのような変化をもたらしたか、生徒、保護者等にどのような影響をもたらしたかを事実即して整理、分析する。

そのためには、研究の本論部分は、事実の列挙で終わらせず、学校経営の視点から、校長の働きかけが学校の組織的な職務遂行にどのように作用したかを分析的に捉える必要がある。

以下に、校長の働きかけの視点を例示する。

① 校長の職務の視点から

「校長は校務をつかさどり、所属職員の監督をする」ことから、その職務は、「4 管理・2 監督」と整理される。また、校長は、管理者、指導者、経営者、監督者、指揮者、教師、相談役の全ての役割をこなすべきであると言われる。

研究で扱う事例は、研究成果そのものの有用性を強調してまとめ、成功事例の羅列に留まる傾向がある。研究としては、分析的な視点を欠くと、因果関係が不明確となり、一生懸命やりさえすれば成功するといった考えに陥りがちである。

実証的な研究のためには、学校教育の管理、所属職員の管理、学校施設の管理、学校事務の管理、所属職員の職務上及び身分上の2監督に関わる校長の働きかけを分類し、その働きかけが、どう作用し、どの程度有効であったかをできるだけ客観的に分析、考察することが大切である。同様に、管理者、指導者、経営者、監督者、指揮者、教師、相談役のうち、どの立場に重点を置いて、どのように働きかけたかの視点での分析、考察も考えられる。

校長の働きかけの視点を明確にし、実践事実やそれを通じた教職員の変容、生徒や保護者等の変容の記録などと照らし合わせ、その及ぼす影響や有効性を分析、考察して、研究としてまとめることが大切である。

② リーダーシップ論の視点から

特定の組織においてリーダーシップが発揮されることとは、組織やその構成員個人に対するリーダーとしての行動に関わる面とそれを受けとめる側である組織や各構成員の変容行動に関わる面の二つの側面がある。

全日中としての研究では、校長の働きかけとその影響の分析は不可欠である。

校長のリーダーとしての行動について、実践記録の分析の視点を以下に例示する。

ア 学校の教育目標の具現化についての教職員への意欲喚起

- 例 ・教職員の意欲を高めるために、特別委員会を設置した。
- ・計画段階から教職員に参加させ、一定の役割を与えた。

イ 学習や諸活動についての生徒への意欲喚起

- 例 ・生徒を表彰するなど、成果に対する評価を行った。
- ・計画段階から生徒に参加させ、一定の役割を与えた。

ウ 校長の意思決定

- 例 ・「生徒の様々な問題行動は、教職員の生徒理解の不統一が原因ではないか」など、問題の本質を分析してみた。
- ・問題解決のため、複数の実践方策・手順を明示し、実現可能な実践内容を決定した。

エ 校長のリーダーとしての行動

- 例 ・「なぜ、この実践を行わなければならないのか」の理由を、明確に伝えた。
- ・率先垂範の行動をとった。

オ 校長の教職員等とのコミュニケーション

- 例 ・共感的理解に努め、相手の自尊心、立場を大切に、言い分を粘り強く聞いた。

上記のリーダーとしての行動の視点から、受け止める側（教職員、生徒、保護者等）の変容を分析、考察していくことも可能である。

Ⅱ 実践を発表し、報告書をまとめるにあたって

研究が具備する条件等を踏まえ、研究を自己評価する観点例を以下に示す。

- ① 明確な教育的信念や構想を述べているか。
- ② 対立・葛藤の様子を具体的に述べているか。
- ③ 教育的信念を達成するための手立て（仮説）と設定の理由を明確に述べているか。
- ④ 本実践を受け止める側（教職員、生徒、保護者等）の視点で、実践を客観化しようとする工夫があるか。
- ⑤ 当該課題の解決予測性について述べているか。
- ⑥ 成功事例だけでなく、成功につながる過程や失敗事例も取り上げているか。
- ⑦ 問題の形成及び解決過程を明らかにしているか。
- ⑧ 実践の事実とその解釈や意見とを識別しているか。

以上の観点を参考に精査し、修正、補足等を加え、研究成果を発表し、研究報告書を完成させたい。

研究発表・報告書の構成例

1 はじめに

○主題に迫る上での学校経営上の課題は何かを明確にする。

2 学校、地域の状況

- ・生徒、保護者の状況
- ・教職員の状況
- ・地域的な課題や社会的な背景
- ・研究実践当初の状況

○校長としての認識や問題把握を明確にする。

○状況は、総論的な説明ではなく、研究の視点に関わる状況を簡潔にまとめる。

3 実践の概要

- ・学校経営方針と実践のポイント
- ・実践に至る経緯と実践の経過
- ・実践状況（教職員や生徒の活動等）

○校長として、問題をどう捉え、どう考えたかの視点を入れる。

○校長として、どのような指導力を発揮して改善を促進したかについて述べる。

本リーフレットに示した以下の各項目等も参考にしながら、それぞれの実践・研究にふさわしい発表・報告を工夫していただきたい。

I 実践を進めるにあたって

II 実践を発表し、報告書をまとめるにあたって

4 取組、実践の成果と課題

- ・生徒、教職員等の変容
- ・実践の成果、達成状況（数量的な成果、保護者や地域の評価、所感等）

以下の観点等を参考に、おまとめいただきたい。

○校長の示した方策の実践と成果を示しているか。

○生徒、教職員等の変容について、経営的な視点から言及しているか。

○保護者や地域に関わる成果や実践全体をとおした成果について、的確に評価しているか。

○実践の結果から新たに発生した課題等を提起しているか。

5 終わりに

- ・自評や今後の方針等

以下の観点等を参考に、おまとめいただきたい。

○学校の経営者の視点で、研究主題に基づいてまとめているか。

○校長としての課題認識と問題把握に基づいて取組と成果についてまとめているか。

○今後の取組の在り方や方向性を示しているか。